

司法試験予備試験の概要

試験の目的

・法科大学院課程を修了した者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的として行われます。

試験内容

・短答式試験

憲法, 行政法, 民法, 商法, 民事訴訟法, 刑法, 刑事訴訟法及び一般教養科目

↓ 合格

・論文式試験

憲法, 行政法, 民法, 商法, 民事訴訟法, 刑法, 刑事訴訟法, 一般教養科目及び法律実務基礎科目(法律に関する実務の基礎的素養(実務の経験により修得されるものを含む。)についての科目をいいます。)

↓ 合格

・口述試験

法律実務基礎科目

↓ 合格

・司法試験の受験資格を得ることができます。

(合格の発表の日後の最初の4月1日から5年を経過するまでの間, 受験することができます。)

試験の日程

・短答式試験

毎年5月中旬頃実施(令和2年5月17日)

・論文式試験

毎年7月頃実施(令和2年7月11日, 12日)

・口述試験

毎年10月頃実施(令和2年10月24日, 25日)

受験手数料

・17,500円